

## 地域に学び その道のプロに学ぶ

本日（10月15日）は、校外学習であったり、外部の方を招いての様々な授業が行われました。総合学科3年生の総合的な学習の時間（本校では「課題研究」という名称で実施）で『色彩が及ぼす心理的变化について』という研究テーマで研究を進めている生徒たちが、研究を進めていく上での考察・改善につなげていこうとするものです。実際にデザイナーとして活躍されている本校の卒業生の方から、服飾と色彩、色彩が及ぼす心理的变化、色彩に関して学んでおくべき基礎知識などについて講義を聴き、実際の仕事で色彩に関することをどのような視点で取り入れているのかなどを学びました。これが1時間目。

2時間目は、同じく総合学科の3年で行っている課題研究で、みつき田和山保育園の園児の皆さんと地域クリエイト系列の生徒が、市民開放農園で交流学习を行いました。さらに、『あいさつの歌をうたおう～子どもにウケる曲の創作をとおして～』という研究テーマで課題研究を行っている5名は、幼稚園のぎに実際に出向いて生徒が創作したあいさつの歌を紹介し、園児の皆さんと一緒に歌い、幼児が楽しく学びながら歌える歌についての研究の改善につなげようとしています。

そして3・4時間目は、総合学科3年生でフードデザインという授業を受けている生徒が、「地域における技能振興」事業により、熟練技能者を招いて授業を行っていただきました。日本料理の講義と示範授業です。

さらに、5・6時間目は総合学科2年地域クリエイト系列では、「地球環境」という授業で風土記の丘公園を訪れ、『島根の自然環境の現状と生態系の保全』についてNPO法人しまね体験活動支援センター岩崎知久様より講義・実習を受けました。同じ時間に食品科学系列の2年生は、生鮮食品のマイナス温度保存や解凍システムを独自技術により開発し、特許を取得し、飲食店舗の経営や介護施設への給食業務なども手がけるマルシェマシナリー株式会社を見学し、製造工程及び食品衛生管理、流通についての理解を深めました。

本日は総合学科を中心に校外学習や外部講師を招いての授業などが多く行われましたが、生物生産科や環境土木科でも学校外の地域資源を活用した授業や実習が多く行われています。10月だけを見ても主なものは、生物生産科1年生の農林大学校での1泊2日による宿泊研修、3年生を中心としてまつえ市民大学への協力、保育園等との異校種交流の稲刈り、トラクタの整備・操作に関わる研修などが行われます。環境土木科でも、山陰自動車道・ため池整備・ほ場整備などの工事現場見学、出雲庭園見学などをおして、専門的な知識の習得や地域理解に深化につなげています。

『誇れ！輝け！地域の希望となれ ～ともに学び鍛えより高みへの挑戦～』この実現のために、学校の中だけではなく、多くの人々の協力を得ながら学校の教育活動を前に進めています。

環境土木科2年生インターンシップより



平成30年度(第66回)収穫祭  
**11月23日(金) 勤労感謝の日**  
 収穫祭テーマ: **The Special Gift**～地域に幸あれ 実りあれ～

**The Special Gift**  
 ～地域に幸あれ 実りあれ～

〈即売〉9:00～12:00 ※なくなり次第、終了とさせていただきます。  
 〈展示・催し物・模擬店〉9:30～13:30